

くらしのご相談事
いつでもお声かけ
ください。



日本共産党の竹田えつ子です

こんにちははニュース 議会報告

No.197 2022年10月3週

9月議会報告

竹田えつ子の一般質問より……

憲法第26条の2「義務教育は、これを無償とする」が体现される鴻巣市に

就学援助制度の拡充⇨オンライン通信費を援助対象とすること 市、「注視する」と消極的

学習用教材としてタブレット(端末)の通信費を上尾市・桶川市では、就学援助制度の対象として年1万4000円を上限に支援しています。憲法第26条2の「義務教育は、これを無償とする」にもとづき、鴻巣市でも就学援助制度の対象

とするよう質しました。

市は、希望者にモバイルルーターを無料貸与しており、公共施設や学校での通信環境が整備されておりオンライン学習ができる環境となつていく。県内の状況を注視していきたいと消極的な答弁でした。

就学援助世帯で、モバイルルーターの貸与はゼロ

再質問で、就学援助制度を利用して児童生徒で、モバイルルーターの無料貸与件数は0であることがわかりました。文部科学省の就学援助ポータルサイトでは、要保護者等に係る支援の内容の答弁でした。

物価高騰の中、義務教育の保護者負担軽減を引き続き求めていきます

異常な物価高騰の中で、多くの市民が大変な思いをしながら暮らしています。市のホームページでは「経済的な理由により学用品費や給食費、校外活動費などの支払いが困難

就学援助制度、所得の目安の改善を ⇨母子世帯の基準は198万 3600円の1.3倍

就学援助制度の支援基準は、生活保護基準の1.3倍です。私の調査では、鴻巣市の生活保護の母子家庭への支給基準は月16万5300円×12カ月＝198万3600円です。現在市が目安としている数字は、2人世帯で144万円・4人世帯で230万円です。この目安では、自分

市は、様々な要件により算定額が変わるので、利用者に寄り添った丁寧な対応に努めていくとの答弁にとどまりました。

子どもの貧困 7人に一人

日本の子どもの貧困率は14~15%といわれています。鴻巣市の就学援助の利用率は7%です。本来

政策総務常任委員会の視察研修 内容を裏面に掲載

10月5日(水)~7日(金)所属する政策総務常任委員会、山口県周南市「水素活用取組」について視察研修しました。



政策総務常任委員会の視察研修より10月5日～7日

**水素から液化水素へ
事業は非常にコストがかかる**

山口県周南市では「水素活
の取組」について説明を受け、
水素カーを見ました。

周南市は、瀬戸内海に面し、
温暖少雨の地域であり、周南
コンビナートの町として発展
しました。

地球温暖化が問題となっ
ている今日、全国有数の水素発
生都市として、高純度の水素
を活用した取り組みとして国
から1億円の補助を受け、「水
素タウンモデル事業」を進めて
きました。出光興産・東ソー・
トヨタ自動車・東芝など沢山
の企業があるまちの特性を生
かし、市・自治会・学識経験者・
商工団体で協議会をつくり事
業を進めています。

水素は、最も軽いガスで無尽
蔵に存在しますが、漏れやす
く拡散しやすいもので、安全
対策上留意が必要です。水素

を運ぶ為に、一旦マイナス25
3度まで冷やし液化し、その
後再度水素化する為に設備面
での費用がかかり、何度も計
画の改正を行っています。

周南市にしかないトヨタ自動
車製造の水素カーを見ました。
販売価格は

800万円
で、これまで
35台が販
売されてい
るそうです。



水素カーの給油？口

**次代を担う子どもたちを
多世代で育む「下関市**

山口県下関市「次世代育成
支援拠点事業ふくふく子ども
館」は、下関駅にぎわいプロジ
ェクト事業の一つとして整備さ
れました。管理費などは、年
間1億2500万円で、市が
福祉事業団として立ち上げた
「下関こども未来創造ネット」
に指定管理委託しています。

3階のフロアー(約2676㎡)

は、プレイランド・交流スペー
ス・相談室・一時預かり・多目
的室など多彩な活動ができる
場となっています。2014
年の来館者は約25万人、昨
年はコロナの影響もあり5、8
万人に。

10月6
日、視察し
た日は、未
就学児童
親子が数
組訪れて
いました。G



ふくふくこども館で

**SDGs(持続可能な開発目標)
の理念を先取りした北九州市**

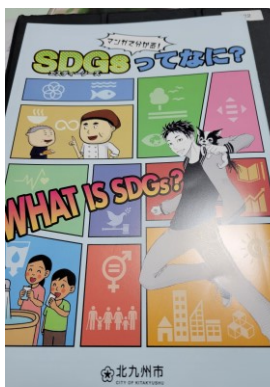
八幡製鉄所で有名な北九州
市。「青空がほしい」と市民(婦
人会)運動により公害を克服
してきた経過があり、こうし
たノウハウを生かし、国際協力
も進めてきた市です。

1997年には「環境型社会」

に挑戦、2008年「低炭素社
会づくり」、2011年に「環
境未来都市」を推進していま
す。

2018年「SDGs未来都
市」に選定され、推進チームつ
くり、課題解決の「北九州モデ
ル」を創出・発信しています。

取組の中で印象深かったの
は、「あなたのまちはどうした
ら持続可能なまちになるの
か？」と子どものころから問題
提起する為に、学校の副教材
として市独自に「マンガで分か
るSDGsってなに？」を作成
している事でした。



「市民力」を生かしたまちづ
くりを進めている北九州市。
鴻巣市でも「市民力」発揮で頑
張りましょう！